

VISION



The Brotherhood of St. Andrew Japan, Inc.

ビジョン 《幻がなければ民は墮落する》箴言29章18節

一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
日本聖公会東京教区会館内
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696
http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org

BSA 会報《季刊発行》

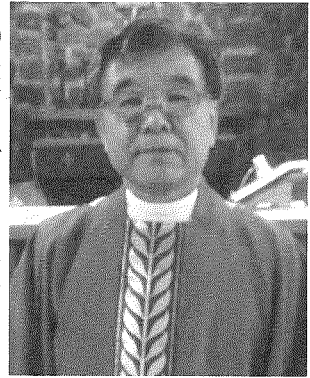
発行人 足立征三郎

編集者 萩谷長生

印刷所 關インパルスコーポレーション

兄弟であること

BSA 清里支部チャプレン
司祭バルナバ 大野清夫



「聖徒アンデレ同胞会」を知ったのは大学入学時のことでした。キリスト教学科クラス担任であった故速水敏彦先生が私たちに向かって、「キリスト教は机で学ぶだけではわかりません。チャペルにいろいろな奉仕団があります。入って活動してみたら

「聖徒アンデレ同胞会」を知ったのは大学入学時のことでした。キリスト教学科クラス担任であった故速水敏彦先生が私たちに向かって、「キリスト教は机で学ぶだけではわかりません。チャペルにいろいろな奉仕団があります。入って活動してみたら

開拓した清里に赴任し、聖アンデレ教会、キープ協会各部署で礼拝を献げています。思いもしないことでした。

その原風景とはイコン(像)と呼べるものです。前カントベリイ大主教ローワン・ウイリアムズは著書『失われたイコン』において、現代人はイコンを抱くことが困難になっている、と語ります。イコンは都市化した社会では失われてしまっています。ゆえにイコンは大切にしなければならぬのです。

その究極的イコンを、私たちは神に求めることができます。イエス・キリストのイコンこそがすべての源なのです。ケンタッキー、清里、ポール・ラッシュを結びつけるものはキリストのイコンに他なりません。私たちが三位一体の神を結びつけるのも、イエス・キリストのイコン

どうでしょう。BSAという団体もあります。アンデレの兄弟という意味ですが、いろいろな奉仕をしています。皆さん体を使ってキリスト教を学んでください。」と語られたのでした。

このことは何を語るのでしょうか。ただ単に自分の故郷を清里に再現したかったのでしょうか。恐らくそうではなかったでしょう。

人には原風景があります。その原風景が豊かであればあるほど、意義深い仕事ができることも言われます。時と場が隔たつていても、或いは隔たつていても、勇

なのです。「使徒聖アンデレ同胞会」は、キリストのイコンによって結びつけられた「同胞会(ブラザーフッド)」には文字通り兄弟愛が溢れているのです。主イエスからの兄弟愛は、聖徒アンデレを通して「聖徒アンデレ同胞会」に注がれています。私たちは兄弟として神の愛を實踐していきます。兄弟とは信仰において神が父であることを悟った人に他ならないからです。

「BSA 100周年記念プロジェクト」(以下100周年プロジェクト)がこのほど発足した。プロジェクトでは、秋の第105総会までに基本構想をまとめることとしている。

「吉松私案」は、
I 基本的な考え方
― 気になるBSAをめざす
1 100周年プロジェクトの設置
2 プロジェクトの業務
3 プロジェクトの開催
4 記念事業の資金計画
II 100周年までの段取り
III 記念事業例
の三部からなっている。「基本的な考え方」では、何

るBSAを目指すとしている。VISIONの配布先も限られている。BSAの存在をあまり日本全国に知らしめ、「BSAが最近何か気になることをやっている」という雰囲気を広めていく運動を100周年活動として展開する。

100周年の取り組みは長丁場である。途中で行き詰つたり、横道にそれることもある。そんな時にはIの「基本的な考え方」に立ち帰って原点を確かめることが必要である。

IIIの「想定される記念事業例」は13件の提案をしているが、今後これを叩き台として、組織全体で検討し、一人でも多くの会員がいろいろな形で参加できるものにしていく努力をプロジェクトに要請している。

BSA 100周年記念プロジェクト発足 秋の総会に基本構想提出めざす

「気になるBSA」をめざす
第一回目のプロジェクト会議を4月22日(月)に開いた。各委員が、100周年の意味と意義、100周年に向けて取り組むべき課題、100周年を迎えた時のBSAの姿、具体的な活動動としてどんなことが考えられるか等100周年記念についてどんなイメージをもっているのかブレイン・ストーミングした。

5月に開かれた会合では、吉松英美理事から基本構想の「私案」が提出された。

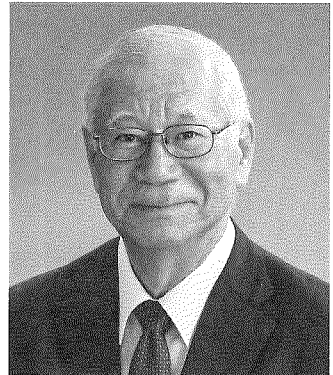
あつてはじめてBSAの宣教活動が展開されたといえる。

通常の活動に組み込む
100周年企画を円滑に進めるには、プロジェクトの活動を各年度の通常活動に組み込むとともに、現行業務全体を見直し、スクラップ&ビルドが欠かせない。

100周年というのと、とかく本部依存型になりやすい。会員一人ひとりがそれぞれの教会や支部で何ができるかを考える、つまり「僕の、私の100周年」を考えることが最も大切である。(理事 ダビデ吉松英美)

トイスラー先生とBSA

学校法人聖路加国際大学
理事長 糸魚川 順



と奉仕を目的とする青年組織で
す。
Andrew 名は、聖書に出てくる
アンデレで、ガリラヤ湖畔でキ
リストの説教に感銘し、その場
で網を捨て、キリスト伝道の
旅に付き従った漁師の一人の名
前です。米国内はもとより、カ
ナダ・中南米・アジア・特に日
本での活動を広め、今日に至っ
ております。ちなみに、同じキ
リスト教青年信徒の活動組織
YMCAは、BSAより古く
1844年ロンドンで創設され
ております。日本でのBSA活
動は、トイスラー先生来日の6
年前の1894年(明治27年)、
東京で外国人会員を中心に貧民
学校、授産所、講義所等を運営
しておりました。

米国聖公会は1866年以
降、宣教師を三代にわたり日
本へ派遣しましたが、いずれも
短期間で帰国し、ミッション系
の病院は、一時的に閉鎖状況に
ありました。1899年、バー
ジニアではトイスラー夫人の
兄ウッドワード氏がトイス
ラー先生に東京の現状を話し、
未開地の宣教師の働きがい
に大切なものか、東京行きを薦
める言葉を残し、ウッドワード
氏は宣教師として中国へ赴任
したとの記録が残っております。
その後、トイスラー先生は
NYにある聖公会本部へ東京の
宣教師の職を引き受ける旨を

トイスラー先生は、神様の御
旨に従い来日されこの病院を創
設されましたが、その大いなる
決断の背景は何であったのか。
「聖路加国際病院100年史」、
その他資料を読み直してみまし
た。

“学生時代からThe Brotherhood
of St. Andrew (BSA) での
熱心な活動。1899年教授
職を辞し日本へ出発。St. Lukes
International Hospital 並びに
Medical Center の創設者、病院
長となり、1934年8月10日
東京にて逝去。”とあります。

BSA (聖徒アンデレ同胞
会) とは、ご存知の方も多いと
思いますが、1883年シカゴ
にあるSt. ジェームス教会の
青年信徒の間でおこった活動組
織で、キリスト教を広め、祈り



打電し、1899年12月サンフ
ランシスコを出港、翌1900
年2月2日横浜に到着。
わずか1年後の1901年2
月12日(本日ですが)、佃に病
院の前身である診療所を開設、
先生はその23歳でありました。

連載 忘れ得ぬ人々(2)
ポロ八木立三執事のこと

主教 バルナバ武藤六治

八木さん(何の肩書も付けず
にこうお呼びする方が私には相
応しい)とBSAとは切り離
すことはできません。このこと
を念頭に私の忘れ得ぬ人の一
人、八木さんを偲んでみたいと
思います。

今日は、病院とBSAの関係
についてお話ししましたが、ト
イスラー先生の来日を決断せし
めた背景には、義兄ウッドワー
ド氏の薦めと、医学生時代から
BSA活動に携わっていた事も
大きな影響を及ぼしたのではな
いかと私は考えます。

〔編集部注〕

本稿は本年2月12日に行われ
た聖路加国際大学の記念礼拝に
おける糸魚川順理事長の挨拶の
大半を聖路加側のご好意により
掲載したものです。

八木さんは1936年(昭和
11年)に立教大学予科に入学、
すぐにBSAに入会し学生時
代BSA活動にはげみます。
戦時下、繰り上げ卒業で軍隊
に・・・戦傷を負い兵役免除に
なつてから終戦を迎えます。戦
後、ポルラッシュ氏等と共に
BSA活動を再開しBSA書
記として働くことになりました。
そして1948年(昭和23年)に
はBSAが立ち上げた「清里
農村センター」(KEEP)の働
きの為に清里に赴いたのです。
当時の清里は今ではとても考
えられない所でした。厳しい自
然環境、粗末な住宅、食料品不

足等々。そんな中で、八木さん
は「農村センター」の働きの為
には、先ず村の人達の理解と協
力がなによりも大事だと、セン
ターから何キロも離れた村々を
訪れ話し合いの時をもちまし
た。(私はそんな折の八木さん
の姿を何度も目にしました。)
八木さんは戦傷で歩くのが不自
由でした。その足で石ころだら
けの山道を歩いての村人訪問
だったのです。八木さんの飾ら
ない人柄・・・村の人たちは八
木さんが大好きになったよう
です。その証拠には、八木さんは
清里赴任の二年目には、押され
て村会議員に立候補しトップ当
選でした。他所から来た所謂「よ
そのもの」が・・・とみんなびっ
くり大事件でした。KEEP
の働きが地域に定着したのは八
木さんの働きが大きかった(ご
本人はこんなことは少しも思っ
ていらっしやらない)と私はし
みじみと思えます。

もともとそんなに丈夫の人で
はなかったのに、多くの無理が
重なったからでしょうか、一年
程病気の為に休職しましたが、
1974年(昭和49年)から教
役者の道を歩み始められ、伝道
師を経て1978年(昭和53年)
執事に按手されました。按手式
当日、当時の東京教区の後藤真
主教の言葉「私は今日イエス様
と同じように奇跡を行いまし
た。八木(山羊ヤギ)を執事(羊
ヒツジ)にしました。」
飾らず、誇らず、謙虚に生き
働いたBSAの先輩、八木さ
んは1983年(昭和58年)4月
10日、天国へ旅立ちました。67
才、少し早すぎる旅立ちだった
かな?でもBSAを通して主
のご用を十分に果たされた密度
の濃いご生涯でした。主に感謝。
(BSA名誉チャプレン)

BSAからのお知らせ

中部教区 カナダミッションの歴史を学ぶ
BSA研修旅行案内

信濃北部の諸教会・施設を訪ね、カナダ
からの宣教師による伝道活動とその時代背
景を探る旅

日程: 2019年9月10日(火)~11日(水)
訪問先: 長野聖救主教会、新生病院・新生
礼拝堂、軽井沢ショー記念礼拝堂

講師: 大和玲子 執事、大和孝明 執事、
土居宏純 司祭

宿泊先: 小布施温泉 あけびの湯
募集定員: 先着20名
締切: 定員になり次第締め切り
参加費: 30,000円(貸切バス代込み)
申し込み・問合せ先: BSA本部 研修旅行担当
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
TEL: 03-3436-4325
FAX: 03-3432-1696
E-mail: bsa@nsskk.org

100周年記念
ロゴマークの募集

BSAは2027年に創立100周年を迎えま
す。それを記念してロゴマークを募集いた
します。

詳しくはBSAのホームページにアップの
予定です。ご参照の上、奮ってご応募くだ
さい。

(ホームページの記事を5面に掲載)。

ウイリアムズ主教に学ぶ

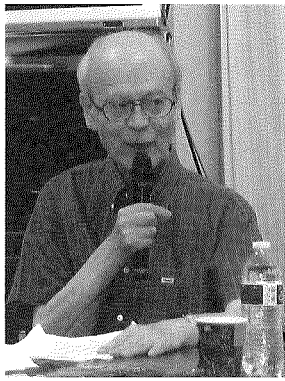
—BSAセミナーに85人—

今年のBSAセミナーが5月25日(土)の午後、東京新宿区にある目白聖公会で開かれ、85人が参加した。講師は前立教学院長の松平信久氏。(写真)

今年190周年、宣教160周年はウイリアムズ主教誕生190周年、同主教が1859年に日本で宣教を始めてから160周年に当たる。

聖公会の初代主教であるウイリアムズ主教は、日本滞在中の50年間にどんな活動をし、何を伝え、残していったのか。

ウイリアムズ主教についてはこれまでに多くの方が書いている。先生は、年表で一生をなぞるだけでは屋上屋を重ねるだけであると考え、ウイリアムズ主教の年譜を縦軸に、生前築いた幅広い交友と人脈を横軸にして構成した。そこに今回のセミナーの意義がある。サブタイトルを「その生涯と同師をめぐる人々」とした所以である。



多彩な人物との交友

ウイリアムズ主教の周りに集まった人たちは、宗教関係者ばかりではない。年譜に記された中から数人を挙げてみると、高杉晋作から始まって、前島密、大隈重信、莊村助右衛門、石井亮一、小橋兄弟、林歌子、元田作之進、名出保太郎など錚々たる人物がいる。長崎で出会った人物には原口針水のような破邪僧や密偵もいた。

日本の郵便制度を作った前島密は、ウイリアムズ主教からアメリカの郵便制度のことを学んだ。ウイリアムズ主教は、通信の役割を人体、血管、血液の関係として説明したという。

大隈重信はウイリアムズ主教から数学を学んだ。キリスト教がまだ禁教の、身に危険を感じる時代のことである。

ウイリアムズ主教の日本での功績は、立教大学をはじめ多くの学校、教会、病院、施設を設立し、日本聖公会の礎を築いたことである。

また、和田秀豊、岩下清周、石井亮一、筆子夫妻、小橋勝之助、林歌子、名出保太郎、元田作之進らの人材を育てた。

エピソードもたくさん紹介された。ウイリアムズ主教理解を助けた。

ウイリアムズ主教の日本での最後の言葉は「あなたがた一人ひとり、信者を連れて来ますよ。よるし。そうすれば一人が二人に、三人が四人になり会堂は一杯になりましょう」であったという。

松平先生はウイリアムズ主教の人となりや「質素・清廉の人であり、祈祷と奉仕の人であった。これはBSAの理念と一致するといえよう」と讃えた。

1910年12月2日、故郷のリッチモンドで81年の生涯を終えた。

講話に称賛の声

参加者の感想を読むと、「今日は来てよかった」、「分りやすかった」、「時間の経過を忘れるほどだった」、「充実した内容に感動した」、「関わった日本人の話が面白かった」、「エピソードが興味深く面白かった」、「講師の周到な準備に頭の下がる思い」、「講師の人柄を感じた」、「これからもこういう企画を期待している」、「BSAに感謝」、「BSAのやるべき仕事でした」等々感動の言葉が並ぶ。

聖公会の歴史をもっと知りた



「レジュメの内容は、すべて参考文献にあげた書籍およびインターネットからの引用であり、参照です。特に大江 満氏著『宣教師ウイリアムズの伝道と生涯 幕末・明治米国聖公会の軌跡(刀水書房)』には多くを負っています。」

ご希望の方は、82円切手を3枚同封の上、BSA本部・セミナー係までお申し込み下さい。

日本聖公会の「後援」がこのセミナーの信頼性と意義を高め、たくさんの方が参加することにつながった。「管区事務所だより」や東京教区時報「きょうくニュース」でも再三周知していただいた。

目白聖公会の高橋顕司祭は快く会場を提供してくださった。開会の祈りは、武藤六治主教がウイリアムズ主教を偲ぶとともに、松平先生への期待を込めて、また、閉会の祈りは、矢萩新一管区総主事が松平先生への労いと感謝の気持ちを込めてお捧げしてくださった。

実施に当たっても沢山の人の協力があった。特にBSAの先輩・現役を問わず多くの人が、友人・知人に周知してくれた。

萩谷理事は自宅の庭のバラで講師の卓を飾ってくれた。

このセミナーがウイリアムズ主教を通してキリスト者としての自分の生き方を考える機会を、いささかでも提供出来たとするならば、その喜びをみなさんとともに分かち合いたい。

主のお導きに感謝。

(理事 ダビデ吉松英美)

いという声がいつかあった。武藤六治主教はその晩「今日は本当にすばらかった。感動しました」という電話をわたくし(吉松)にくださった。

この日参加した人は、男女半々であった。BSAの会員ではない人が全体の半分強であったことは、講師とタイトルに惹かれて来た人が多かったものと思われる。

しかし、このことは、BSAを知ってもらいたい機会でもあった。BSAの認知度を高め、理解を深めるためには、今後ともこうした機会を増やしていくことが大切である。

詳細なレジュメに驚き

先生は、昨年の11月から半年間、多くの資料にあたり、構想を練ってこられた。日本聖公会の源流をたどる講話は、日本聖公会の現状と将来を考える際の貴重な導きとなるであろう。

用意したレジュメは、A4・18枚。年表、人物、建物、地図、ご自身の手になるスケッチ等のご苦労は参考文献を見れば一目瞭然である。これだけでも本一冊分に相当する。勉強会のテキストとしても活用できる。

感想文でも「レジュメの素晴らしさに圧倒された」、「冊子にしてほしい」などレジュメを称賛する言葉が多数あった。

松平先生は、レジュメの終わりに参考文献を紹介し、次のように謝意を述べておられる。

「レジュメの内容は、すべて参考文献にあげた書籍およびインターネットからの引用であり、参照です。特に大江 満氏著『宣教師ウイリアムズの伝道と生涯 幕末・明治米国聖公会の軌跡(刀水書房)』には多くを負っています。」

ご希望の方は、82円切手を3枚同封の上、BSA本部・セミナー係までお申し込み下さい。

日本聖公会の「後援」がこのセミナーの信頼性と意義を高め、たくさんの方が参加することにつながった。「管区事務所だより」や東京教区時報「きょうくニュース」でも再三周知していただいた。

目白聖公会の高橋顕司祭は快く会場を提供してくださった。開会の祈りは、武藤六治主教がウイリアムズ主教を偲ぶとともに、松平先生への期待を込めて、また、閉会の祈りは、矢萩新一管区総主事が松平先生への労いと感謝の気持ちを込めてお捧げしてくださった。

実施に当たっても沢山の人の協力があった。特にBSAの先輩・現役を問わず多くの人が、友人・知人に周知してくれた。

萩谷理事は自宅の庭のバラで講師の卓を飾ってくれた。

このセミナーがウイリアムズ主教を通してキリスト者としての自分の生き方を考える機会を、いささかでも提供出来たとするならば、その喜びをみなさんとともに分かち合いたい。

主のお導きに感謝。

(理事 ダビデ吉松英美)

7月6日(土)午後、東京教区会館で開催されました。福岡、横浜、房総、南町田、聖マルコ、インマヌエル新生、清里の7支部の支部長(副支部長)が出席されました。今回は欠席でしたが盛岡支部からは詳細な活動状況、課題、今後の計画、要望などが寄せられました。

本部報告に引き続き各支部の様子報告では特徴ある各支部の様子

が披露されました。婦人会と共同の多い清里、あえてBSAの名前を出さない奉仕活動中心の横浜、男子会と共同例会の福岡など、この3支部と盛岡を含めた4支部では毎年総会と再宣誓式を開いています。

例会が持ちやすいようにと支部を分割した房総支部、活動内容を模索中の南町田とインマヌエル新生は新しい風を感じさせます。

途中、清里の野田支部長から参考資料として昭和58年版の同胞会事典の「支部について」が紹介され、思わず共感のうなずきと苦笑を呼ぶ場面もありました。

要望、100周年に向けての意見などでは、本部との懇談を一つのキッカケにしたい。BSAの悩みは全て聖公会全体の悩みである、管区との連携をしてみたい、女性会員問題、定款の再検討は避けて通れない、などの意見が出されました。

尚、活動報告は無く提言だけが送られてきた支部がありました。それが扱いは理事会に委ねられました。

(理事 ルカ永井信行)

★一般ご家庭の引越し 事務所引越
★オフィスの引越 のエキスパート!!
★フロアーの移動
★各種展示会セッティング etc...

Gtec 株式会社ギンテック

港区港南3-4-12
TEL 0120-223-008
TEL 3471-5313

ホームメイド・チーズケーキの店

CHEESE CAKE
JOHANN
HOME BAKED MADE

和 田 博 子
目黒区上目黒1-18-1
TEL 3793-3503

立教企画グループ

学校業務受託、人材派遣等承ります。

株式会社 立教企画
株式会社 立教オフィスマネジメント
株式会社 立教ファシリティマネジメント
株式会社 立教ライブラリーマネジメント

http://www.rikkyo-planning.co.jp

支部だより

房総支部総会開かる

支部二分割案を決議

6月30日(日)午後2時から柏聖アンデレ教会でBSA房総支部の総会が開かれ、倉石昇顧問を含む同支部会員8名が出席し、名誉チャプレンと役員4名が同席した。三原一男司祭(松戸聖パウロ教会)の司式による開会礼拝の後、岩間光雄支部長の司会で総会に移った。

今回は、支部会員数30余名を擁する房総支部の活動をより活性化するため、2つのグループに分ける案を主な議題として、活発な議論が行われた。その結果、従来の房総支部を次のように分割する方針が決まり、理事会で承認を求めることになった。

BSA房総支部 千葉復活教会、茂原昇天教会、福田聖公会、鴨川聖フランシス教会 (会員数22名)

BSA北総支部 市川聖マリヤ教会、松戸聖パウロ教会、柏聖アンデレ教会 (会員数9名) なお、新しく発足する北総支部のチャプレンとして三原司祭にお願いしたい旨も確認された。

当日午前に行われた聖餐式(聖霊降臨後第3主日)には、武藤六治主教(本部チャプレン)の他、足立会長、尾崎・木島両副会長、吉松理事、永井監事、林間支部の金子眞兄(ゲスト)、房総支部の岩間支部長などが出席し、礼拝後の愛餐会の席で柏の信徒との分かち合いのひと時を過ごした。

総会終了後は本部役員、ゲストを交えて支部員との懇談の場が設けられ、夕刻5時前に散会した。

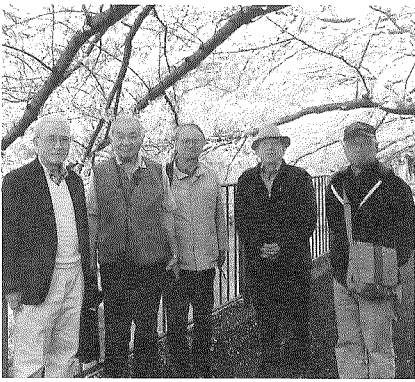


末尾ながら今回ご協力下さった柏の皆さまに心より感謝申し上げます。(理事 テモテ萩谷長生)

みんなで花見 南町田支部

4月4日(木)、桜が満開になったといわれて数日後でしたが、誘い合せて近くの恩田川河畔に出かけました。メンバーの半数が参加しました。

今回の集まりは、私の頸椎手術退院のお祝いのお昼食会を兼ねたものです。優しい先輩方です。恩田川河畔の遊歩道をそぞろ歩いていると、後姿が「エマオへの道」を想像させるものがありました。残念ながらイエス様の同行はありませんでしたが。



当支部で現在計画していることは、昨年末に発刊された「聖書協会共同訳聖書」を教会試用

に読み合わせしてみようという企画です。

支部の中心となる真光教会も定住牧師が不在になって7年、管理牧師による聖書勉強会もとうとう不可能になりました。しかし、こういう時だからこそBSAがリードする好機と思うことにいたしました。

清里支部

教会めぐり巡礼の旅

6月11日にチャプレン大野清夫司祭の前任地 小田原聖十字教会を訪ねました。中央道から茅ヶ崎海岸ICを経て、伊豆大島を遠望しながら湘南ブルーのオーシャンビューを堪能しつつ、約2時間半の道のりでした。こじんまりとした、しかし落ち着いたのある聖堂で姜炯俊司祭から教会の沿革をお聞きしました。教会創立120周年、付属の花園幼稚園は100周年を迎えるとのこと。主日礼拝には25名程の出席があるそうです。

祭壇の「格天井」は宮大工の手によるもので、去年Eテレの『美の壺』でも貴重な建築として放映されましたが、そのビデオを見せていただきました。

小田原と清里の教会の双方に赴任された聖職も何人かおられます。



れ、ご縁の深さを感じます。

お昼には、近くの早川漁港のお洒落なお店で、待望の新鮮なお魚づくしの食事や買物を楽しみ、箱根や富士山の横を通って夕方には一行16名が無事清里に帰着しました。梅雨の最中にもかかわらず楽しく快適な一日を過ごすことができました。感謝。(清里聖アンデレ教会 マリヤ 田村美里)

インマヌエル 新生教会支部(仮称)報告

新しい支部の初めての支部会を6月23日に開きました。



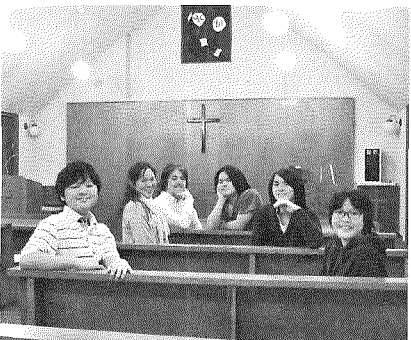
ら聖職志願をし、ウイリアムス神学校で学び、現在徳島聖テモテ教会を生活の居として徳島伝道区で奉仕しております。「地方教会あるある」として伺っていた「お野菜は皆さんがいる」と持つてきて下さいませよ」というお話しのとおり、徳島のお野菜を頂戴しながら多くの方々の新しい出会いと学びの恵みに与っております。眉山(びざん)を目の前に礼拝堂からは四季折々の美しい木々を望み、街ではイベントがあれば阿波踊りが披露され、阿波尾鶏という地鶏を賞味し、家族共々豊かな時を過ごしております。聖職候補生という立場は「司祭様」にすこし聞きづらいような「いまさら聞けない」ということで「聖書朗読会」や「旧約を知ろう」などのグループが始まり、応答役として早速用いられております。

とはいえ、神学校を出たばかりでわからない事はばかりです。準備をしながらそして質問を受けながら、わたし自身も改めて神学の世界を丁寧に学ぶ機会が与えられております。「一人が一人を」ということを日ごろの生活の中で実践出来るように、楽しく福音を伝えられればと思っております。(徳島聖テモテ教会)

徳島に遣わされて

聖職候補生 ルカ 宮田祐三

BSAのメンバーとして皆さま方との交流もずいぶん月日が経ちました。当初は東京教区の信徒として、そして神戸教区か



徳島の教会で信徒のみなさんと

清里高原・清泉寮

記念日プランや早割プランなど、様々な宿泊プランをご用意しております。グループでの修養会・合宿もご相談ください。

清泉寮フロント：0551-48-2111
www.seisenryo.jp



聖路加フレンズは、健やかなところからだをつくるための会員制健康クラブです

☎ 03-3541-1056

受付時間 平日9:00~16:00 (土・日・祝日を除く)

株式会社聖路加コーポレーション
聖路加フレンズ事務局
https://www.stlukes-friends.com/

BSA信徒叢書について

BSAでは会員や聖公会信徒の方々に聖公会の教義、歴史、礼拝、そして聖書などについて広く知り、信仰の道しるべとしていただくために、今までに別掲のように信徒叢書全18冊を発行してきました。シリーズになっているものもありますが(全4巻と全3巻が各2種、全2巻が4種)、いずれも16頁という厚さ、大きさ(新書版)に取められ、価格も100円という廉価です。

そのような手軽さもあり、今まで多くの会員や信徒の方に読まれ、多いものは6刷まで増刷されています。著者はいずれも聖公会を代表する優れた教役者、研究者の方ばかりですが、すでに逝去された方、高齢の方が多くなっています。改訂が必要なのは急がなければなりませんし、もともと新しいものでも発行からすでに10年以上がたっています。

そこで健在の著者には改訂の必要の有無を確認し、新たに発行することが望まれるようなテーマ・著者について現在担当者が見つけているところですが、その結果についてはなるべく早く、この紙面で皆様にお知らせしたいと思っています。

日光真光教会のある風景(1)

日光真光教会(北関東教区)
理事 ダビデ吉松英美

本号から「信徒叢書のある風景」を連載します。
信徒叢書が展示されている礼拝堂、集会室、入り口、ロビーなどそれぞれの展示風景やみなさんが活用している場を紹介していきます。
第一回は日光真光教会です。

日光真光教会は、国道沿いにあるため、石造りの教会に魅せられて観光客が訪れます。礼拝堂には、設計者のJ.M. ガーディナー夫妻が眠っています。

10年ほど前からこの教会を守る伝道師の久保田智さんは、日々その対応に追われています。教会入口左手のステンドグラスの下の書架に信徒叢書が置いてあります。「創刊間もない頃から展示しているようですよ」と久保田さん。



訪問客に教会の沿革やキリスト教の説明をしながら、さりげなく叢書を勧めます。中には数冊買っていく人もいます。

洗礼志願者の勉強会などでもキリスト教の理解のために勧めることがあります。久保田さんは「病者訪問に行く時は、靴に忍ばせていくことが多いです。靴に忍ばせていく人が多いため、積極的に勧めないようにはしています。しかし、信徒叢書は、心の友として本当に良い書物です」と話しています。

日光真光教会からは、昨年200冊の注文がありました。聖別して100年を超える教会には、今日も多くの人を訪れ、信徒叢書を手にとっていることでしょう。

「はなこ」のセラピー

ドッグ・セラピーという言葉をご存知だろうか。病気の人が、犬に触れることによって癒され、次第に健康を回復する効



果が期待できるといいます。A君は小学生の時に神経性無食欲症になり、入院生活を余儀なくされた。今も点滴だけで栄養を摂取している。クリスマスには教会の聖歌隊が病室で聖歌を歌ったり、牧師もたびたび見舞いに訪れ、彼を励まして来た。中でも信徒のBさんは、親兄弟のように信頼され、慕われている。

その甲斐あって、少しずつ元気を取り戻し、今では車椅子で移動できるほど回復の兆しが見えて来た。将棋を指す病院仲間もできた。そんなある日、足立征三郎会長の飼っている「はなこ」がセラピー犬だと聞いたA君の母親は、足立会長に要請。6月29日(土)の午後、はなこは病院内の敷地でA君と対面した。足立会長は、キャンプでA君を知っており、その縁で、祈り、そして見舞いにも来てくれた。A君は、はなこの体に触れ、何度も撫でていた。その間、はなこは彼のすることを黙って受け入れていた。

はなこの、あるがままを受け入れるその素直さ、優しさが彼を癒してくれるのだろう。A君に至福のときが静かに流れる。はなこはA君と1時間ほどいた。翌日病院に来た母親に「昨夜はぐっすり眠れた」と、A君は語ったという。はなこはこれまで何度も多くの病人を慰めて来た。はなこに触れ、はなこの体温を感じ、はなこの優しさに癒されて来た。

これこそBSAのいう「祈禱と奉仕」活動ではないだろうか。

BSAホームページのご紹介

BSAのホームページは、以前から公開されており、残念ながら内容の更新がされておりました。昨年9月より更新の担当者が決まり、順次内容を更新しております。今までに役員名簿を更新し、最新のVISIONを掲載し現在のBSAの事がわかるようになりました。またBSAハンドブックの目次とBSA信徒叢書の一覧表を載せました。

トップページには「行事のお知らせ」「伝言板」会員からの情報コーナー」を設け、本部支部の活動の広報と、会員から寄せられた各教会の行事のお知らせなどを載せ、情報を分かち合えればと思います。

「BSAの活動」のページが未完のままであり、その他のページも検討が必要と思われる。今後、記事が増えるに従って、より見やすく必要な情報が得やすいホームページになるように工夫して行きたいと思っております。ときどきご覧いただければ幸いです。

なお、ホームページのアドレスは次の通りです。
<http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org/index.html>
ホームページ担当理事
クリストファー湯田啓一

BSAに入会して

福岡支部 パウロ 下村仁士

私が洗礼・堅信を受けたのは、昨年の10月のこと。その後、主の導きがあつて、BSAに入会することとなりました。私とキリスト教との出会いは、学生時代に手にした聖書。教養として聖書を読むこともあり、その頃から四半世紀の間、机の上にはいつも聖書がありました。しかし、教会には行くことはありませんでした。それが昨年の3月、主の導きで変わりました。教会に通うようになったきっかけは、両親ともに天に召されたことを通じての人生への迷いや悩み、また職場での仕事や教会における活動で直面した壁。教会の働きを通じて、主は私が進むべき正しい道へと導いてくれました。

また、洗礼・堅信後に参加するようになったBSAや男子会の働きを通じて、神のみ旨を行うことの大切さを学び、実践する機会に恵まれるようになりました。現在では、祈禱と奉仕を通じて教会の働きを支えるのももちろん、それだけではなく、私たちの仕事や社会における活動すべてが、祈禱と奉仕に通じるように、信仰生活を送っています。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

銀座朝禱会

朝禱会は会場の改装のため会場を変更しておりますが、9月からは従来の場所(スターバックス並木通り店)に戻る予定です。皆さまのご参加をお待ちしております。なお8月は夏季休業といたします。
(朝禱会世話人アブラム松田正人)

聖公会という名の教会(一)	竹内 寛著
聖公会という名の教会(二)	今井慈治著
聖公会という名の教会(三)	竹内 寛著
聖公会という名の教会(四)	竹内 寛著
聖書に聞く(一)	清水敏彦著
聖書に聞く(二)	清水敏彦著
聖書に聞く(三)	清水敏彦著
キリスト教史—古代	菊地栄三著
キリスト教史—中世・現代	菊地栄三著
十字架	竹田 眞著
サクラメント	竹田 眞著
礼拝—口メモ(一)	竹内謙太郎著
礼拝—口メモ(二)	竹内謙太郎著
わたしたちの祈禱書	森 紀旦著
米國聖公会(一)	飯田徳昭著
米國聖公会(二)	飯田徳昭著

創立94年の恩人 ポールラッシュ
学校法人メイウシヤマ学園
ハリウッド大学院大学
ハリウッド美容専門学校
〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ
☎0120-083394 www.hollywood.ac.jp

清里高原だより 清泉寮ニユース

ジョンディアトラクター
最新型が納車されました。

清里開拓のシンボルといえ
ば、鮮やかなグリーンとイエロー
の車体の特徴のジョンディアト
ラクターもその一つです。今年
の5月、清泉寮ジャーザー牧場
に最新モデルのジョンディアト
ラクターが納車されました。

今を遡ること約70年前、清
里に1台のジョンディアトラク
ターが贈られてきました。ポー
ル・ラツシュの活動に感銘を受
けた米国の実業家が、開拓に役
立てて欲しいと寄付したのです。
八ヶ岳は火山性の土地で、土を
掘ると大きな岩が次々と出てく
るため、人や馬だけでの開墾は
非常に困難だったと言います。

アジアの小さな国にジョン
ディアトラクターが贈られたこ
とはやがて製造元のディア・ア
ンド・カンパニー社の知ること
となり、同じくラツシュの理
想に賛同した経営者ヒューイッ
ト夫妻の意向で、最新のジョン



ディアトラクターが贈られてく
るようになりました。

清里の開拓は、開拓者たちの
不屈の精神と、それを支えた多
くの人々の惜しみない援助に
よって成し遂げられたのです。
ジョンディアトラクターは、今
も地域のシンボルとして愛され
続けています。

そして、トラクターといえ
ば今年の夏も人気のアクティビ
ティ、「ヘイライド」が開催さ
れます。もしかししたら、今回導
入された最新モデル、JDI
6130Mが引く日があるかも
知れません。ぜひ、夏の清里高
原へお出かけください。

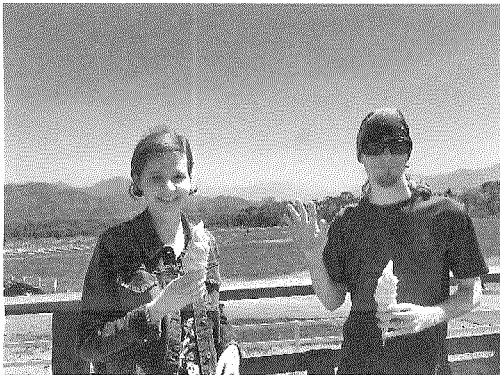
○ヘイライド

干し草を積んだ荷台に乗り、
トラクターに引かれて絶景の牧
草地をのんびりドライブしま
す。

日時：7月27日～9月1日
毎日10時～15時 ※天候などに
より中止の場合あり
場所：清泉寮ファームショップ
料金：1回500円
お問合わせ：0551-48-
4888

「青年への希望」

清泉寮では毎年国内外からの
インターン生を受け入れていま
す。今年も、アメリカ、フラン
ス、フィリピン、日本各地から
の若者たちが、清泉寮の事業を
通じて社会貢献や組織運営につ



いて学ぶ予定です。

現在、5月中旬から7月中旬
までの2か月間、アメリカ・ケ
ンタッキー州ベリア大学の学生
2名が研修に訪れています。北
杜市内での英会話レッスンをや、
「清里インターンシッププログラム」
などの国際交流プログラムの実
施、ポール・ラツシュ記念館で
の展示企画などを通じて、英語
指導助手や学芸員といった、卒
業後の進路希望を叶えるための
インターンを行っています。ま
た7月上旬から8月下旬は、フ
ランス・リール大学より学生が
2名実習のため来清し、清泉寮
自然学校・キャンプ場での業務
実習を行う予定です。いずれも、
業務経験を通じて、生きた日本
語や日本での実習に触れて、将
来グローバルな場で活躍するた
めの経験を積むことが目的で
す。

「清里インターンシッププログラ
ム」は、清里の豊かな自然のな
かで、気軽に楽しく英語やキャ
ンプ活動を楽しめる、小学生対
象のプログラムです。現在冬の
セッションの受付中です。
お問合わせ：企画部0551-
48-2688

「VISION」文芸

野田 徹

新緑や都会のごとき別荘地
清里の樹間に灯り子らの声
ウグイスの私ここと声を張る

松岡正治

野に出れば迷う事なく青き踏む
教会の牧師転勤鳥雲に
早祷に集う人達春惜しむ
聖路加の十字架見ゆる春夕べ
早祷の鐘の響や福寿草
栗拾う頃に会おうと別れけり

ウイリアムズを語るは学究車椅子
声凛としてその説濃やかなり

萩谷長生

御堂にて二人十字を切りており
ベンテコステの静けき夕べ

吉松英美

燃ゆるなど夢想だにせじ大伽藍
紅き炎に尖塔崩るる

新しきインクの匂い太ごとと
「令和に入る」と日記に記す

戦後まだ日経たずして皇室の
改革唱えし皇族のあり

奉祝に沸く日本に海外の
メデア鋭く女性の地位問う

軒先に巢を温めし雀らの
雛も育ちて今日旅立ちぬ

催し物案内

チャリティ講演会と
コンサート

聖ヒルダ会ベタニヤ・ホーム
後援会主催・BSA後援

講演 上智大学グリーンフケア

研究所特任所長 高木慶子
「グリーンフケア」人生に於ける
悲しみと喜びを理解するために

パイプオルガン 三浦はつみ
ソプラノ独唱 古関尚子

日時 10月9日(水)13時30分開演
会場 神奈川県民小ホール
入場料 3,000円
チケット申込先
kouenkaikai@ngsca-net.ne.jp

電話 090-6182-0374
FAX 03-5932-8356

訃報

ジョージ 上城太一 兄
(87歳)

(平塚聖マリヤ教会)
4月7日逝去

トマス 齋藤政雄 兄
BSA元理事・監事

(聖アンデレ教会)
6月12日逝去

会費納入のお願い

BSAの運営は皆様の会費、
賛助会費を財源として実施され
ております。今回、今年度の会
費等納入のための振込用紙を同
封させていただきました。ご協
力のほどよろしくお願ひ申し上
げます(過年度未納分も併せて
受け付けております)。

編集後記

・昨年の7月は早い梅雨明
け後の水害、今年は長雨の
さ中の豪雨禍。被災された
方々にお見舞い申し上げます。

・今号は、BSA精神にさ
りげなく触れた巻頭言(大
野清夫司祭)を始めとする
充実した記事内容に加え、
広告掲載件数も従来の2倍
(スペース的には3倍)に
増え、3号続けて6ページ
建てとなりました。編集作業
の負荷増はさておき、先ず
は喜ばしいことと受け止め
ています。より良き誌面づ
くりのためにさらに多く
のご投稿をお待ちしていま
す。
・前号の名刺広告中、掲載
もれ等の不手際がありまし
た点をお詫び申し上げます。
(N・H)